

校長室だより No 4

2018年 5月10日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津 健志

「子供たちの安全を三位一体体制で・・・」

今週に入り、新潟、滋賀から小学生の悲しいニュースが入ってきました。

このことは、全国のどこの学校にも起きうる可能性があることを認識して、子供たちの命を守るため、学校・保護者・地域が同じ目線で子供たちを見守っていきたくと考えております。

子供が被害に遭う場所は、一人での場面です。

学校では、担任を通じて「通学路で一人で歩くところは、特に注意すること」「声掛けなどには応じないこと」を、今回の事件を受けて再指導をしました。

担任も、家庭訪問を通じて把握した通学路を、一人一人がどう歩いているかをイメージしてどこが危ないかを意識して、下校時の声掛けをしていくようにしていきます。

今回の新潟の事件報道を聞き、この子供がいなくなった午後3時から午後6時くらいまでの間のことは、本校でも年に1回か2回は経験することだと思っています。

～保護者からまだ下校しない。授業を行っていない職員が捜索に出る。発見できない。パンザマストが鳴っても帰らないならば、警察に届け出を・・・

というところで、子供が帰宅しました。という連絡が入る～

見つかるまで、学校としては、常に事件に巻き込まれた可能性を想定して真剣に捜索し、一秒でも早い発見を願って動いていますので、帰宅の報には、本当に胸をなでおろします。

このようなケースの場合、多くは下校途中に友達の家に寄っていたということが原因です。

ご家庭では、「通学路を必ず通ること」「絶対に寄り道をしないこと」を何度も子供たちに言っていて聞かせて欲しいと思います。

中原町会の下校時見守りボランティアの方のお話では、『放課後に家で遊ぶ約束をした子ども同士で、下校途中の子の家に寄って一緒に帰宅する、場合によっては、学校から反対方向なのに一緒に遊ぶ子の家へ行き、そこから一緒に帰宅するようなケース』を見かけ、注意をしてくださっているようです。

子供たちには、危険回避の力をつけていかなければなりません。そのためには、危険な場所、時間、危機に遭遇しない行動規範を教えていくことが大切だと考えています。

周囲の大人たちの動きかけで、子供たちに力をつけていきたくと思います。

これは、滋賀で側溝で流されてしまった事故にもつながることだと考えています。

あまりにも惨い子供の事件を起こさないためにも、過去の事案から学びたいと思います。学校としましても不審者に関する情報共有を徹底して、安全なまちづくりに貢献していきたくと思います。この2000年以降、7名の子供が犠牲になっています。

2017年3月 千葉・松戸 小3女児 2015年2月 和歌山・紀の川 小5男児

2014年9月 兵庫・神戸 小1 女児 2008年9月 千葉・東金 5歳 女児

2005年12月 栃木・今市 小1 女児 2005年11月 広島・広島 小1 女児

2004年11月 奈良・奈良 小1 女児 もう二度と犠牲者を絶対に出さない・・・

<工事情報>

光ヶ丘みどりの広場の伐採及び宅地開発事業が始まりました。下校時間帯には児童の安全確保のため、重機等の運転を控えるとの連絡をもらいました。お気づきのことや危険を感じることはありませんでしたら、情報を学校にお寄せください。担当の方と協議していきたくと思います。